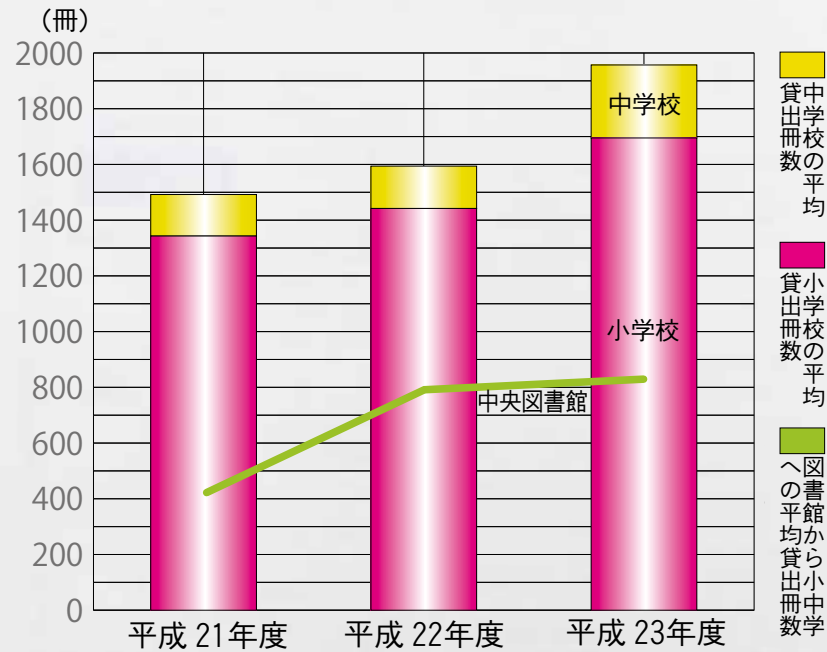


世界で遊ぼう 本の学ぼう

小中学校の平均貸出冊数の推移



1カ月当たりの貸出冊数

年度	小学校
平成21年度	1,343冊
平成22年度	1,442冊
平成23年度	1,695冊

年度	中学校
平成21年度	149冊
平成22年度	152冊
平成23年度	262冊

年度	中央図書館
平成21年度	412冊
平成22年度	786冊
平成23年度	827冊

※貸出冊数は、小学校15校、中学校8校の1カ月当たりの平均貸出冊数。中央図書館は、中央図書館から小中学校へ貸出した平均冊数

「たくさん本を借りる子どもたち」
今、市内の小中学校では、読書を積極的に取り入れた教育活動を行っています。朝や給食配膳時の読書、読み聞かせやブックトーク、教員・総合学習や行事の調べ学習など、本に触れる機会が多くなります。

また読書環境の面でも、恵まれてきます。学校図書購入費の充実や巡回学校図書館司書の配置、市中央図書館による図書配本システムなどで児童生徒のさらなる読書活動を支えています。

過去3年間の小中学校別で学校図書館の1カ月間の貸し出し冊数を調べてみると、小中学校ともに着実に増えています。さらに市中央図書館の本を、学校の希望に応じて貸し出す「配本システム」の利用も伸びています。

これは、学校での本の利用の仕方が広がったためと考えられます。

趣味としての読書はもちろん、授業や行事のためにさまざまな情報を集める読書、読

「読書を通じ豊かな人間性を築く」
子どもの読書活動は、子どもが言葉や学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものに、人生をより深く生きるための力を身につけていく上で、欠くことのできないものです。

また総合的な学習や社会見学などの事前学習で、テーマに向けた調べ学習を通して、主体的に学ぶ力や態度を育成します。

さらに図書館での本の貸し借りや飾り付けなどを、児童

当市は「思いやりと文化を育む人づくりのまち」を掲げて、郷土が誇る先人佐藤一斎の教えを基に「市民三学運動」を展開し、読書に力を入れています。学校での読書活動は、児童生徒の図書委員会と学校図書館が中心となります。学校図書館は、趣味の読書だけでなく、教科の学習や調べ学習など教育活動の充実に大きな役割を担っています。また市中央図書館や巡回学校図書館司書、地域の読書ボランティアなどの活動により、子どもたちの読書への関心も高まっています。

ここでは、市内の学校で行われている読書活動について紹介します。
□問い合わせ 学校教育課 ☎43-2112 (内線 352)



▲読書活動が活発な大井第二小学校（図書館）。写真は図書委員の皆さん

このように、各々学校では、読書を学校経営の柱にしたり、児童生徒の図書委員会活動を活発にしたり、「生きた学習」や「先人学習」といったテーマ学習で利用したりして、児童生徒の豊かな人間性を育む取り組みを行っています。

「恵那東中は、毎日、全校生徒が10分間朝読書を行う。集中力を高め、授業に向かう」

生徒による図書委員が自主的に行うことで、自治能力を培い、自立の精神を養うことができます。児童生徒に落ち着きが出てきたという報告もあります。

一言で言えば「豊かな人間性を築くことができる」ということです。

このように学校での読書は、今日の学校教育にとって大きな意義を持っています。



★大井第二小学校
図書委員が大活躍

大井第二小学校では、図書委員15人を中心にさまざまな読書活動を行っています。

図書委員は「全校のみんなに本を好きになってもらいたい」「たくさん本を読んでも、本と仲良くなりたい」と願いながら活動を展開。本の貸し出しや整理はもちろんのこと、マナーキャンペーンでは、本の借り方、扱い方などを図書館マナーと呼び掛けています。キャンペーンや読書まつりを知らせるために「図書館だより」も発行。図書委員は、自分の担当学級に行って配布し、大切なことを直接説明しています。

読書環境の整備や読書の大切さのPRも重要な活動です。また年に2回ある読書月間では「読みきりパズル」など多くの催しを企画しています。

読書まつりでは、全校児童が集まった体育館で、図書委員が朗読劇「だっだっだっのおばあさん」を披露しました。この朗読劇は、8月に行われた学校図書館サミットでも発表し、高い評価を得ています。校内の各図書館通り(廊下)

に「葉っぱの飾り」がつり下げられています。これは「推薦図書を読もう」と題した活動で、学年に応じた推薦図書(各10冊)を読み切ると図書委員が作成した「葉っぱ」がもらえます。そこに自分の名前を書き、学級ごとにその葉っぱをつなぎ合わせます。それを全校でつなぎ合わせます。「スタンプラリー」では、図書館内や図書館通りに、図書に関するクイズが貼ってあり、児童はそれぞれのクイズを解いていきます。正解すれば図書委員からシールをもらい、全問正解で、図書委員手づくりのしおりがもらえます。

これらの活動を図書委員が中心となって続けた結果、第二小学校は、昨年度に東濃地区学校図書館教育賞で総合優秀賞を受賞しました。また同校の読書量は一年間で4万6千冊を数えます。児童からは「図書館へ行きたい」「こんな本も読んでみたい」などという声がたくさん寄せられています。友達同士や6年生が1年生を誘って本を借りる姿は、自然な風景となっています。

本好きな子に 学校の読書活動



市内の小中学校では、図書委員会を中心に、読書祭りや図書の貸し出しなどを行い、読書活動を盛り上げています。市内の学校から2年連続で東濃地区図書館教育賞を受賞しました。ここでは大井第二小学校(昨年度総合優秀賞)と岩邑小学校(本年度優秀賞)の活動を中心に学校の読書生活を紹介します。

特色ある読書活動 ~各校の取り組み~



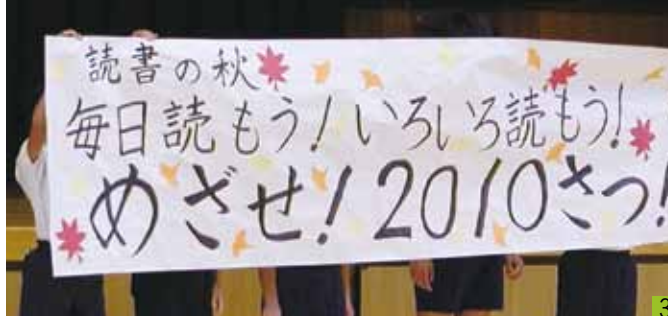
読書まつりで劇を披露 (恵那北小)



電子黒板での読み聞かせ (上矢作小)



読み聞かせを3年生が行う (武並小)



1. 手作りの国旗を準備して行う「国旗当てクイズ」(岩邑小) 2. 楽しい飾りでワクワクする図書館の入り口(大井第二小) 3. 秋のキャンペーン活動での目標(大井小)



楽しい学校図書館へ



▲巡回学校図書館司書の皆さん
私たちは、それぞれ恵那西中学校と大井第二小学校、岩邑小学校を拠点に、市内23校の小中学校と公立幼稚園3園を巡回し、子どもたちが本を好きになるようにお手伝いをしています。図書館の模様替えから教室での読み聞かせ、ブックトークなど幅広く活動しています。特に、図書館での本のレイアウトはこだわっています。楽しくワクワクするような図書館を目指して活動しています。

★岩邑小学校 ふれあいブックワールド

「一番印象的だったコーナーは『歴史パズル』。パズルを組み立ててみたら、織田信長や昔の人になったから、びっくり」「これからは、マンガ以外の本も読んでみたい。本博士になったみたいだ」と楽しそうな声が各教室や体育館、ランチルームなどから聞こえて来ました。

これは、12月1日に岩邑小学校で行われた児童会行事のふれあいブックワールド。この行事は、この日のために6年生が中心となり、2分「歴史人物パズル」、4分「おもしろ理科実験」、9分「読み聞かせ」というように、0から9分間の本にちなんだ楽しいコーナーを準備した同校の主要行事です。

当日は、スタンプカードを持ち、オリエンテーリング形式で各コーナーを、ふれあいグループ(1年から6年生の異年齢グループ)で回りました。低学年から高学年までみんなで楽しめるように、歴史クイズや国旗当てクイズ、科学実験体験、楽しい工作など、楽しくてためになる工夫がいっぱい。6年生に連れられて、1年生の子どもたちも本当に楽しそうでした。工夫されたイベントと年齢の違う児童が「読書」を通じて交流することで、普段あまり読まない種類の本のおもしろさに触れ、読書の世界が広がっていきます。

地域の方を招待する読書まつりは、楽しいです。学年ごとで行う出し物は、いろんな本の物語が分かっておもしろいよ。



▲勝田宗平君 (恵那北小6年)

中央図書館長さんに聞く

●中央図書館は、学校とどのように連携しているんですか

学校への本の配送、ブックトークや読み聞かせ、セカンドメッセージ事業、子ども司書講座、職場体験の受け入れ、読書活動展などで、園児や児童、生徒の読書生活に一役買っています。

●ブックトークって何ですか

「へんしん(変身)」や「食べ物」などテーマにそった複数の本を、その面白さが分かり興味を持ってもらえるように紹介することです。

●学校への本の配送サービスはどのようにやっているのですか

学校からファクスで注文を受け、毎週木曜日に学校を回っている配送車で本を届ける仕組みです。

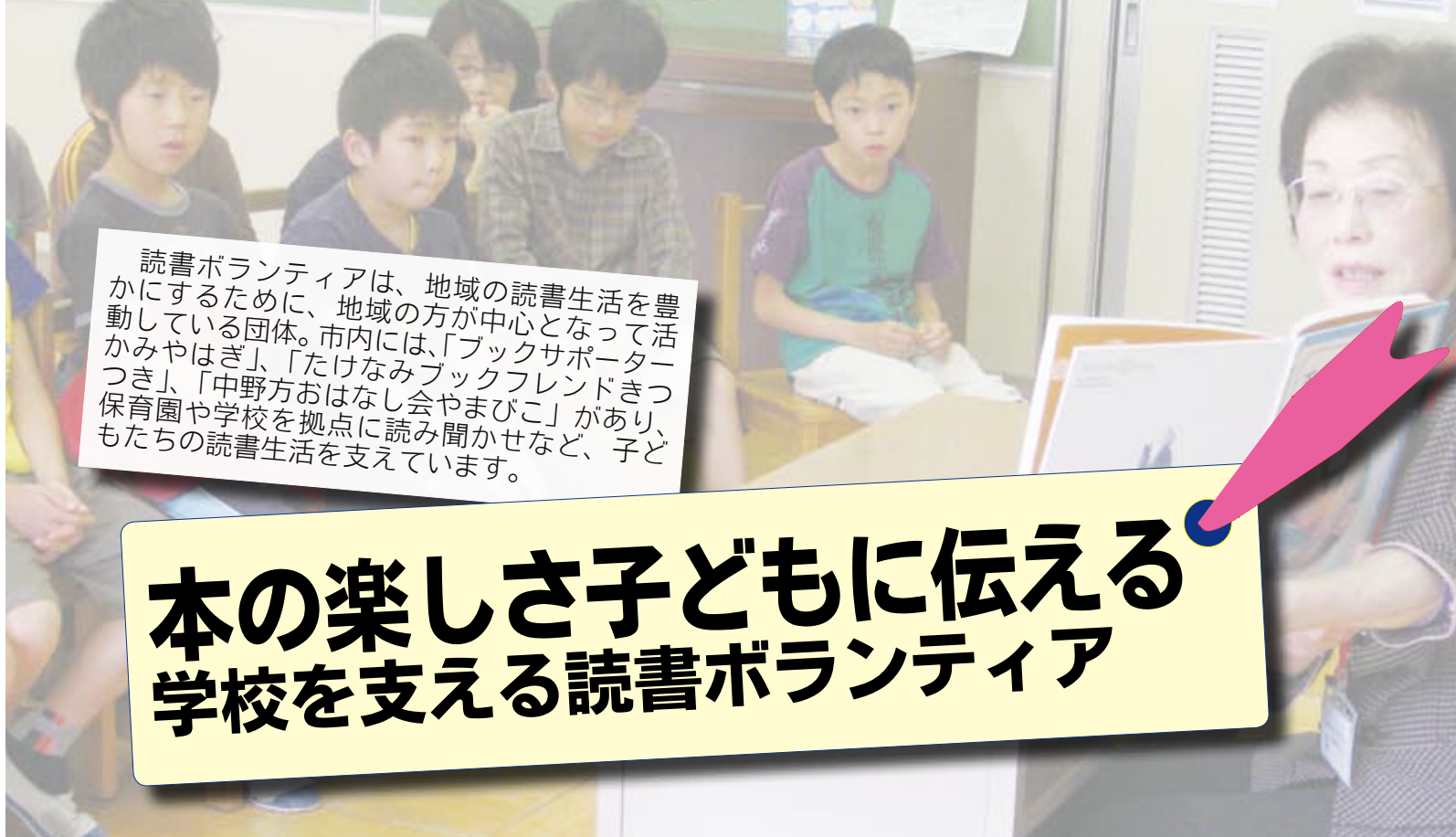
●セカンドメッセージ事業を具体的に教えてください

子どもが小学校へ入学する保護者を対象に、子どもに読んであげたい本、読んでほしい児童書や絵本を紹介した小冊子を配布しています。

●市民の方へ一言
図書館では、子どもたちが本好きになるようさまざまな工夫をしています。ぜひ、本の素晴らしさを知ってください。



▲岡崎信美館長



読書ボランティアは、地域の読書生活を豊かにするために、地域の方が中心となって活動している団体。市内には、「ブックサポーターかみやはぎ」、「たけなみブックフレンドきつき」、「中野方おはなし会やまびこ」があり、保育園や学校を拠点に読み聞かせなど、子どもたちの読書生活を支えています。

本の楽しさ子どもに伝える 学校を支える読書ボランティア

第3日曜日は読書の日

皆さんは、幼いころ、本を読んでもらいながら眠りについたこと、こたつで一人絵本を読んだこと、毎年4月に配られる新しい教科書の匂い、徹夜で読んだ文学全集、なかなか寝付かない子どもに読み聞かせた絵本など…本の思い出はありませんか。
振り返れば、私たちは、いつも本と一緒にいました。現代は、インターネットで瞬時に情報が得られます。学校の現場でも、電子黒板に始まり、今後ますます電子書籍やデジタル教科書などが活用されるでしょう。
しかしながら、本を手に取り広げて読む「読書」が、やはり学びの基本となります。市では、毎月第三日曜日を「読書の日」として、学校や地域、家庭での読書を推進しています。読んだ本について、家族で話してみたいかがですか。家族での輪読も面白いものです。読書を通じて、家族の絆がぐっと深まります。
本の思い出をたくさん持った子どもたちが、知的で心豊かな大人になり、社会で活躍することが期待されます。

インタビュー 読書は学問の基礎 読むことで「心」を育む

市では、学校や家庭、地域での読書活動を進めています。朝読書の活動をはじめとする学校での読書活動は、子どもたちが読書を通して、読書の楽しさや本の面白さを伝えていくことが、読書活動の目的です。

新しい気付きや、さまざまな不思議を解き明かしてきた人間の知恵の豊かさなど、言葉で表す感動の世界に、思わず涙が溢れ胸が熱くなります。子どもたちが感じ、自ら考えることが人生を豊かにします。
今、読書離れが問われています。しかし市内の子どもたちは、全ての学校で行われている朝読書を通して、どの子どももじっくり本と向き合っています。やがて、子どもたちは独り立ちしていきます。そのときのために、悩み困難なときに心の支えになる本、心を洗うほど感動する本、自らの世界を広げ豊かにする本との出会いを増やしてあげたい。
教育の世界では、新しい学習指導要領で国語の学習にとどまらず「言語環境の整備と言語活動の充実・学校図書館の利活用」が求められています。学校では、人間形成や情操を養う読書と、記録・要約・説明・論述する活動が強調され「読む・聞く・書く・話し合う」ことを大切に取組んでいます。
子どもたちは、本が大好きです。幼いころに絵本を読んでもらった体験の多い子どもほど、本が好きです。学校や家庭、地域の中で「読んでもらうこと・一緒に読むこと・自分で読むこと」を通して、読書そのものの楽しさと、読書を通して広く深く考える楽しさ、その思いを自分の言葉で表現する楽しさに触れています。
子どもたちの言葉の世界と生き方が、より豊かになることを願っています。



●足立篤美（あだちあつみ）
市中央図書館「天の川イベント実行委員会」学校代表、「学校図書館主任研修会」顧問として読書活動推進に関わっている。
平成23年4月から恵那東中学校長を務め、現在に至る。

学校と地域のつながりのために

私たちブックサポーターかみやはぎは、市中央図書館の提案を切っ掛けに、平成19年に発足し、現在、上矢作町を中心に13人で活動しています。
当時は、PTAの方が中心でしたが、今では地域の方も加わり活動の幅も広がってきました。活動内容は、主に読み聞かせや図書の整理、イベントの開催などです。子どもたちの読書の手助けになればと、夏休みに「子どもの読書月間」として課題図書を紹介しました。
また子どもたちが読んできた本の記録は、大切な成長の証になると考え、小学生になった子どもたちへ「読書記録ノート」を配っています。
私たちの活動が、学校と地域との懸け橋となり、さらに地域の方たちの絆が深まることを願っています。
私たちも楽しんで活動していますし、地域の子どもの成長が楽しみです。



▲ブックサポーターかみやはぎ代表 梅本信枝さん

地域で取り組む読書活動
現在、市内には、「ブックサポーターかみやはぎ」、「たけなみブックフレンドきつき」、「中野方おはなし会やまびこ」の3つの読書ボランティアが設立され、地域で学校の読書活動を支えています。
これらは、地域の方々が中心となり、読み聞かせなど子どもたちに読書の楽しさや本の面白さを伝えていきます。市内では3団体に44人が登録し、活動しています。
主な活動は、読み聞かせコンサートや、テーマに応じて本を紹介するテーマ図書室の開催。小学校などで、年齢に

応じ工夫を凝らした読み聞かせを行っています。この活動を地域に生かすために、自らも地域読書活動合同研修会などで研さんを積んでいます。中でもブックサポーターかみやはぎは、地域での活動が認められ、本年度は県地域子ども支援賞を受賞しました。
同団体は、読書を通して「地域をつなぐ力になる本を通して大人と子どもがふれあえる」をテーマに、本の素晴らしさを伝え、豊かな読書活動をつくっていくと主に乳幼児学級や保育園、小中学校などで活動しています。
昨年度は、上矢作小中学校



▲クリスマス読み聞かせコンサートを開催